

まちのきこり人育成講座 第4回レベルアップ研修 活動報告

平成 26 年 2 月 25 日

作成 清水 環

1. 活動場所 諸戸林友(株)、大杉谷自然学校
2. 活動日 平成 25 年 11 月 2 日(土)、3 日(日) 天候 晴れ、曇り
3. 担当 清水、瀧口
4. 参加者 上森安、寺田卓二、村田幸信、中橋勇、上林光伸、長谷川善行、瀧口邦夫、
松永幸男、瀧口朱実、岡島俊雄、大石住夫、蒲田博、櫻井龍彦、高崎広、清水環、
澤田崇 16 名
5. 講師 諸戸林友(株)川端康樹氏、NPO 法人大杉谷自然学校 大西かおり氏
6. 内容

①諸戸林友（1 日目）

午前：森林・林業の現状、これからの林業が成り立っていくための努力、植栽における技術革新、トヨタの改善方式を取り入れた森林管理の見直しなど、データに基づきお話をうかがった。また、森林施業 NPO としての森林の風へのアドバイスとして、危険回避・安全のための、ドレスコード、チェック項目など社内で作成、使用されているものを披露していただいた。参考にしたい。



午後：実際にトヨタとともに森林管理をすすめている山林を見学させていただいた。諸戸林業が管理していた頃の様々な試みも見られる中、諸戸林友が管理を始めてから 1 度目の施業は概ね終わったことを伺い、その現場を見ることができた。昨今増えている森林崩壊の現場も見ることができ、改めて自然との共存とは難しいと感じる機会となった。



②大杉谷自然学校（2 日目）

三重県の森林環境教育では先駆者的存在である大杉谷自然学校を訪問、大西校長に大台町大杉谷の現状や森林環境教育における取り組みを伺った。

森林環境教育の実施や発信の拠点である一方、人口が激減していく地域でどんどん失われていく文化や暮らしをどうにか支えたいという思いが強く感じられた。

また、ちょうどその日行われていた古民家再生のプログラムも見学させていただいた。

諸戸林友見学の感想（長谷川さんより）

各工程で、単位当たりの作業時間、材料費の積算などしてデータを集め、科学的分析をして低コストで木材を生産する手法を地道に考えているところは、慣習に縛られてきた林業界には必要な考え方なのだろう。利用間伐、伐採をするには作業道の整備が不可欠。期間降雨が増加している中、降雨量の多い宮川、大台地区の作業道整備は他の地域の参考にもなるかもしれないと思った。先進の考え方を進めている中で、使用されている機械類はかなり古いものが動いていた。それがまたすばらしい。

「近い将来、木を伐らなきゃいけない山が、伐る木が無い山になっていく」の言葉は衝撃を受けた。伐ったら植える！
今の施業まで 30 年のブランクが森林が、改めて管理され始め、国内林業界の先進的考え方を持った施業をされている現場を見、話を聞いたのは大変良かった。



HP より。



列状間伐を試みたあと



林道



植林された山



深層崩壊しては植林しようもない

以上。
活動報告が大幅に遅れてすみませんでした。（清水）